

水道のホースでコート数の増減が簡単に ～ゴール型ゲームの実践～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

どの小学校にもポートボールの台があるのではないのでしょうか。このポートボールの台。ポートボールのゲームではもちろん、その他の用途も多く、運動会においては審判台とするなど、重宝するものになっているのではないかと思います。

しかし従来のポートボールとなると、ゴールマンが台上に固定されやすく、十分プレイできなくなるため、これまで私は床に四角のラインテープを貼り、ゴールマンは誰でもできるように交代制にしていました。



これまでアイスクリームバスケットを行う際は、体育館に三面コートを作っていましたが、3年生は34名、4年は1、2組とも21名と人数が大きく違います。両学年ともなるべく多く試合をさせゲームを楽しんで欲しいという願いが私にはあります。また、同時期に5、6年生はバドミントンコートをもとにしたサイドアタックサッカーのコートを3面、1、2年生はルパンゲームのコートが5面と、体育館の床は何色ものラインテープが貼られた状態でした。

そこで今回考えたのが、移動式水道ホースによるゴールエリアです。



水道ホースとジョイント



奥から
円周2m
円周4m
円周6mの円



小さく切って
リレーのリングバトンに使うこともあります。



3/19		ステージ	
強すぎ	▲	▲	チョコミント
芝犬	▲	▲	卵かけご飯
カラフルビーチ	▲	▲	ガリガリ君
太陽	▲	▲	バスケ勝利



ホースが長くなると、円の形が変形しやすくなります。
 しかし子どもたちは、そんなことは一切お構いなく、
 4年生はコート3面、3年生はコート4面で
 ゲームを楽しんでいました。